

令和6年11月吉日

報道各位

一般社団法人日本自動車車体補修協会
点検普及促進委委員会
委員長 平根 孝

スポット溶接機 定期点検ハンドブック

一般社団法人 日本自動車車体補修協会（通称：JARWA 代表：吉野一） 点検普及促進委委員会（委員長：平根孝）は自動車補修用の「スポット溶接機定期点検ハンドブック」の会員への提供を開始します。

弊会にて2018年公表した、「ARW3002：スポット溶接機点検方法及び判定基準」にて、自動車補修用スポット溶接機の点検について決めました。

これは、昨今の車体に多用されている超高張力鋼板は、熱感受性が高く、熱を加える事による強度変化が大きい事から、補修用スポット溶接機による溶接が必須となっており、使用過程においてもその能力が、設定した溶接条件通りに発揮されていることが非常に重要である為です。

経年劣化により、スポット溶接機の能力が発揮されない場合は、いくら自動車メーカーやJARWAより公表されている溶接条件通りに設定しても、実際の出力が下回ってしまい、溶接強度の低下を招いてしまいます。

こういった事から、ARW3002の運用において、具体的に判断する場合の事例を提示してほしいとの要望が、会員より多数寄せられたため、今般「スポット溶接機定期点検ハンドブック」を会員に提供する事に至りました。

引き続き弊会の活動へのご協力並びに、ご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。

<スポット溶接定期点検ハンドブック>

https://jarwa.or.jp/info/upload/191/spotweldingmachine_maintenance_handbook.pdf

一般社団法人 日本自動車車体補修協会	担当	飯塚
東京都千代田区神田佐久間町4-6 齋田ビル5F		
TEL) 03-5829-4811	FAX)	050-3153-2056

<ハンドブック一部抜粋>



ARW3002: 2018
 スポット溶接機点検方法及び判定基準 準拠



自動車修理見える化認定制度 採用

スポット溶接機 定期点検ハンドブック


2024年8月26日策定
 一般社団法人日本自動車修理協会のマーク
 点検普及促進委員会
 委員長 平根 孝

著作権法により無断での複製転載は禁止されています。

項目	点検項目	点検方法	判定基準	写真
1-1-1	1-1-1-1	ケーブルの劣化状況を確認する。	ケーブルに異常がない。	
	1-1-1-2	ケーブルの断線を確認する。	ケーブルに断線がない。	
	1-1-1-3	ケーブルの外皮の剥離を確認する。	ケーブルの外皮に剥離がない。	
	1-1-1-4	ケーブルの腐食を確認する。	ケーブルに腐食がない。	
1-1-2	1-1-2-1	ケーブルの接続部を確認する。	ケーブルの接続部に異常がない。	
	1-1-2-2	ケーブルの接続部の締め付けを確認する。	ケーブルの接続部が適切に締め付けられている。	
	1-1-2-3	ケーブルの接続部の腐食を確認する。	ケーブルの接続部に腐食がない。	
	1-1-2-4	ケーブルの接続部の劣化を確認する。	ケーブルの接続部に劣化がない。	
1-1-3	1-1-3-1	ケーブルの接続部の温度を確認する。	ケーブルの接続部の温度が正常範囲内である。	
	1-1-3-2	ケーブルの接続部の電圧を確認する。	ケーブルの接続部の電圧が正常範囲内である。	
	1-1-3-3	ケーブルの接続部の電流を確認する。	ケーブルの接続部の電流が正常範囲内である。	
	1-1-3-4	ケーブルの接続部の電圧降下を確認する。	ケーブルの接続部の電圧降下が正常範囲内である。	


1-3-1 判定基準

良い事例




悪い事例

ケーブルに変化がみられる





ケーブルに破れがみられる




1-2-1 判定基準


良い事例

悪い事例



チップ先端がつぶれている



テーパー部に傷

